

# 入居募集システムの簡易版

## 管理会社の在宅勤務をサポート

### プロラボテック

入居募集支援システム『GoWeb』（コーウェブ）を開発、販売するプロラボテック（東京都千代田区）は6月に、同商品のライト版を発売する。管理戸数500〜1000戸程度の規模の管理会社に向けた簡易版だ。新型コロナウイルス対策支援の一環で、導入初期費用と6カ月間のランニングコストを無料にするキャンペーンを打ち出している。

『GoWeb!』は、従来、紙やFAXで行っていた入居募集管理業務をオンライン化する。導入後、仲介会社から電話やFAXが来ることなく、保険会社の連絡や家賃保証会社とのやり取りもペーパーレス化が可能。コロナ感染症対策として、不動産会社の在宅勤務をサポートしている。ライト版では一部の機能を省き、機能をシンプルにした分、導入コストを軽減することができた。

もともと『GoWeb!』は自社管理物件の空室状況を他社仲介店舗がリアルタイムで確認できる業者向けサービスを拡充したものだ。現在は募集から入居申し込み、契約までをシステム上で完結することが可能になっている。複数のポータルサイトへの一括入稿、内見や入居の申し込み受け付け、部屋止め、契約書のアップロードやダウンロードなどが行える。『GoWeb!』を導入している管理会社の空室を案内したい他社の仲介店舗は『GoWeb!』にアクセスすれば、募集条件の詳細から、部屋止め、契約手続きに必要な書類のやり取りを行うことができる。わざわざ、電話で確認したり、FAXを送ったり、契約書の受け渡しなどにも必要がない。問い合わせにはチャット機能を使うため、履歴が残りトラブルが防げるメリットもある。

今回のライト版では、保険会社や保証会社とのシステム連携などを省いた。インターネットを介したFAXサービスなどを代用することで、ペーパーレスで業務を行うことが可能だ。機能をシンプルにして導入コストを軽減した。

同社は「新型コロナウイルスの感染拡大を機に、不動産取引のデジタル化を検討する会社が増えている。管理戸数が1000戸以下であっても導入できるよう費用の一部無償化を行う」と語った。